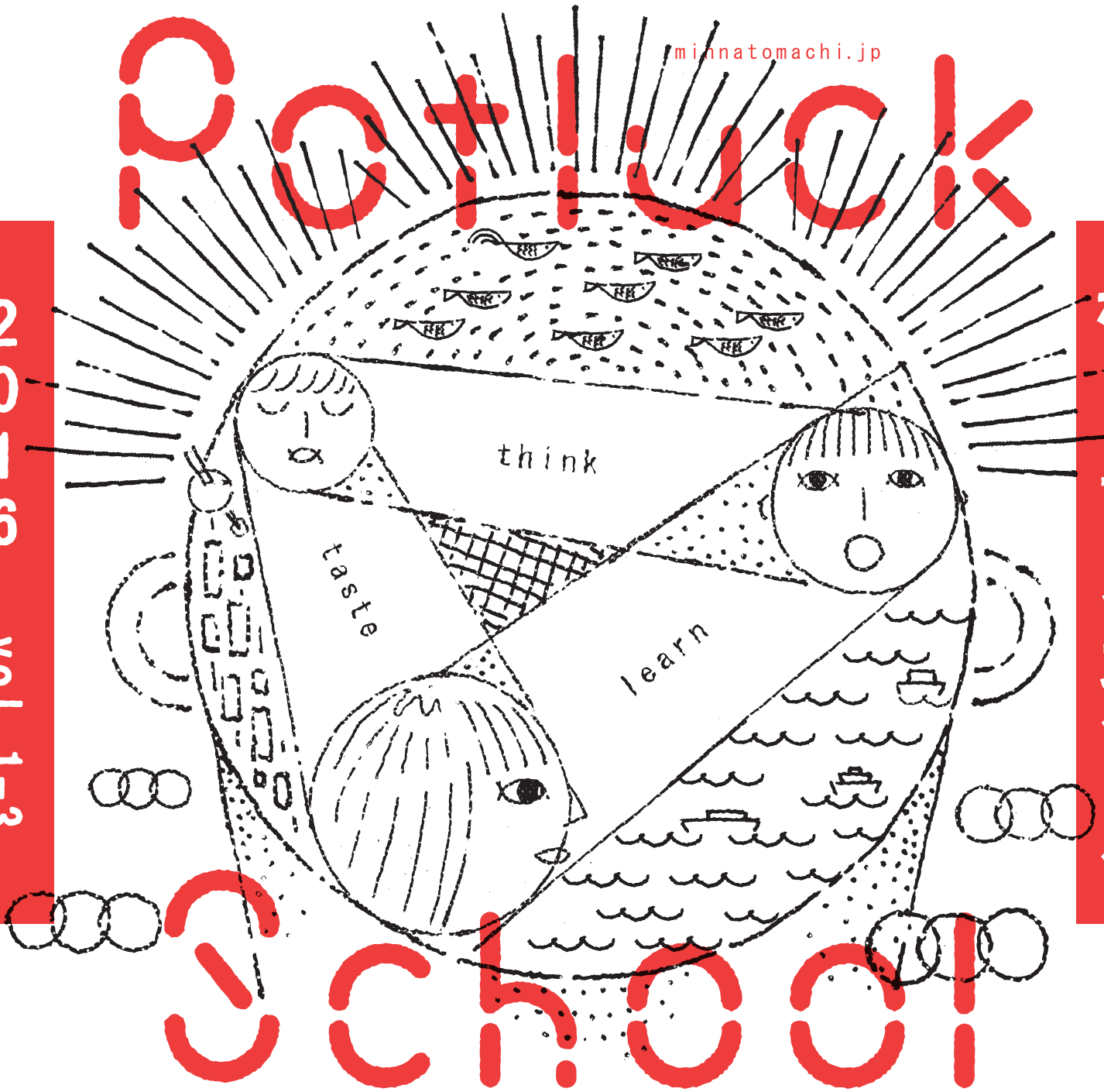


港まちで学ぶ、
味わう、考える。

「POTLUCK SCHOOL (ポットラック・スクール)」は、名古屋の港まちで、これからの「まち」についてみんなで考えるスクールです。POTLUCK には、「料理を持ち寄る」という意味がありますが、このスクールでは、アイデアや知恵、時にはそれぞれの地域の問題や宿題を持ち寄って、共有し、楽しく学ぶことを目指しています。これからの社会を考えるヒントに、アートやデザインの視点を取り入れ、現場の実践者やそれに関わる各専門家と、名古屋の港まちのクリエイティブな未来について考え、ネットワークを繋ぎます。

2019 Vol.1-3

ポットラックスクール



第1回

社会の中に広がっていく芸術
—まちなかで実践される創造の場—

日 時 7月29日[金] 19:00-20:30

ゲスト 雨森 信 Breaker Project ディレクター

第2回

構造からまちを考える

—豊橋における建築家の取り組み—

日 時 8月19日[金] 19:00-20:30

ゲスト 黒野有一郎 建築家/sebone 実行委員長

第3回

まちづくりってなんだろう

—成長するアーカイブの事始めとして—

日 時 9月2日[金] 19:00-20:30

ゲスト 香月洋一郎 民俗学者

会場 Minatomachi
POTLUCK BUILDING
名古屋市港区名港 1-19-23

定員 50名
(予約不要)

港まちづくり協議会
JOINT COMMITTEE OF PORT TOWN

港まちポットラックビル
Minatomachi POTLUCK BUILDING

Minatomachi
Art
Table,
Nagoya

MAT.
Nagoya

500円

ワンドリンク、軽食付き
終了後、交流会を行います。参加自由。

Potluck School

ポットラックスクール 2016 vol.1-3

第1回

社会の中に広がっていく芸術
—まちなかで実践される創造の場—

ゲスト 雨森 信 (Breaker Projectディレクター)

進行役 吉田有里 (MAT, Nagoya)

日時 2016年7月29日[金] 19:00-20:30

大阪市西成地区をフィールドに、2003年より活動を開始した「Breaker Project」は、芸術と社会をつなぎ、地域に根づいたさまざまな創造活動の場を創出しています。既存の美術空間、既存のシステムにはおさまらなれない独自の表現手段を開拓するアーティストとともに長期的にまち（社会）と関わり、地域に入り込む活動をしているディレクターの雨森信さんをお迎えしてこれまでの活動について伺います。



Kidou 手芸館「たん」2015

雨森 信 / Nov Amenomori

1969年大阪府生まれ。大阪市立大学文学部特任講師。成安造形大学客員准教授。京都市立芸術大学美術学部卒業後、設計事務所、ギャラリー勤務を経て、キュレーターとして活動。2003年より大阪市の文化事業として、Breaker Projectの企画運営に携わり、地域密着型のアートプロジェクトを数多く手がけている。

Breaker Project breakerproject.net

第2回

構造からまちを考える

—豊橋における建築家の取り組み—

ゲスト 黒野 有一郎 (建築家 / sebone 実行委員長)

進行役 古橋 敬一 (港まちづくり協議会)

日時 2016年8月19日[金] 19:00-20:30

「アートの力で人と街を元気にすること」を目的とした、とよはし都市型アートイベント「sebone」は、2004年に始まり今年で13回目を迎えます。中心市街地を走る牟呂用水の上に立つ水上ビルを構造的に「都市の背骨」と見立て、その場所を軸に、イベントを続けていくことで街全体のにぎわいを図っています。建築家としてのまちとの関わりと、地域の特性を活かしたこれまでの活動について黒野有一郎さんに伺います。



写真提供…大豊協同組合 / 撮影…小林春吉

黒野 有一郎 / Yuichiro Kurono

1967年愛知県豊橋市生まれ。武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業後、野沢正光建築工房を経て、2004年一級建築士事務所建築クロノを設立。同年より始まった都市型アートイベント「sebone」に参加。現在、水上ビルの商店街理事長を務めるほか、駅前デザイン会議「トリエンナーレとよはし部会」を主導するなど、自治体・行政と連携した「アートによるまちづくり」を展開している。

sebone seboneart.com

第3回

まちづくりってなんだろう

—成長するアーカイブの事始めとして—

ゲスト 香月 洋一郎 (民俗学者)

進行役 古橋 敬一 (港まちづくり協議会)

日時 2016年9月2日[金] 19:00-20:30

急激に流動化していく人間の暮らし方や働き方。そんな時代において、現代の都市生活者が、自らの暮らす地域や街に愛着を持つことには、社会構造上の難しさがあります。にもかかわらず、まちづくりに挑もうとするのであれば、私たちには何ができるのでしょうか。地域の歴史や物語を聞き書きし、人と地域の在り方を探り続けてきた民俗学者、香月洋一郎さんをゲストに、これまでの活動やその意義についてお話を伺います。



1954年頃のみなと祭の様子

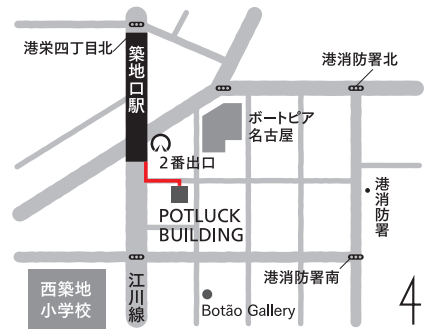
香月 洋一郎 / Yoichiro Katsuki

1949年福岡県生まれ。一橋大学社会学部卒業。在学中から武蔵野美術大学で宮本常一氏から教養を受ける。日本観光文化研究所所員を経て、1986年から2009年まで神奈川大学日本常民文化研究所所員、同大学教員。主な研究分野は景観論、ライフヒストリー、民俗誌。著書に「記憶すること・記録すること—聞き書き論ノート（弘文館、2002年）」

会場

Minatomachi
POTLUCK BUILDING

〒455-0037 名古屋市港区名港1-19-23
港まちづくり協議会事務局内



市営地下鉄名港線「築地口駅」2番出口より徒歩1分

参加費

500円 ワンドリンク・軽食付き
※スクール終了後、交流会を行います。参加自由。

定員

50名 (予約不要)

企画 | Minatomachi Art Table, Nagoya
[MAT, Nagoya]

主催・問い合わせ | 港まちづくり協議会事務局
TEL | 052-654-8911 FAX | 052-654-8912
MAIL | info@minatomachi.jp
WEB | minatomachi.jp

アシスタント募集

ポットラック・スクールでは、スクール当日の準備、記録などを行って頂けるアシスタントを募集します(スクールへの参加は無料)。希望の方はinfo@minatomachi.jp宛にメールでお問い合わせください。[名前、生年、住所、電話、志望理由を記載してください。]



「Minatomachi POTLUCK BUILDING: みなとまちポットラックビル」は、旧文具店をリノベーションし、「POTLUCK (ポットラック)」の考えをベースに「暮らす、集う、創る」を実践する拠点として、港まちづくり協議会が運営しています。2015年秋より、アートプログラム・Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya] が始動。地域の中にアートやクリエイティブな視点を取り入れたプロジェクトを展開しています。